

岸田総理大臣主催日本・エジプト友好レセプションの開催  
総理挨拶

私としては15年ぶりに、そして総理大臣としては初めて、こうしてエジプトを訪問でき大変嬉しく思っています。改めてここカイロの、溢れんばかりの活気と人々の熱量を感じています。

そして何より、皆様一人一人のご活躍と人間関係が架け橋となり、日本とエジプトとの間に、力強く層の厚い友好関係が築かれている様子を目の当たりにし、喜ばしく、また、心から誇りに思います。

両国の交流の裾野は、皆さまの日々のご尽力により、教育、経済、文化、政治など様々な分野で、一層の広がりを見せています。

例えば、本日までご参加のヒラール元高等教育大臣の後押しを得て、両国の教育パートナーシップは飛躍的な発展を遂げ、日本式教育を導入したエジプトの学校数は今や50校を超えました。

また、エジプト各地の大学で現在日本語を学んでいる学生は約3,000名を数えると聞いています。彼らは必ずや将来、我々二国間関係で大きな役割を果たしてくれることでしょう。

本日、エルシーシ大統領との間で、日エジプト関係を「戦略的パートナーシップ」に格上げし、幅広い分野で両国の友好関係を一層強化することで一致しました。

日本とエジプトは、地理的には離れていても、心の距離の近い友人として常に助け合ってきました。これからもそのようなかけがえのない絆が、皆様の活躍に支えられる形で、未来に向けて一層深まっていくことを確信しています。

日・エジプト間の友好とこれに支えられた両国のますますの発展を祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。

(了)